



光る風



【学校教育目標】やさしく かしく いきいきと

【目指す児童像】自分も仲間も大切に、あたたかく認め合える児童

水谷東小学校HP

しょうこうぐち おも 昇降口からはじまる思いやり

みなさんが毎日使っている昇降口、そして正門やうら門までの通り道。

そこは、だれがきれいにしてくれているのでしょうか。

それは、こうむ員さんやかんごしさんがきれいにしてくださっています。みなさんが授業をがんばっている間に、ほうきではいたり、床をていねいにふいたりしながら整えてくれています。

みなさんの知らないところで、みなさんのために働いてくれている人がいます。その人たちの願いは、「みんなが気持ちよく学校生活を過ごせるように」ということです。

でも、毎日使っている場所だと、それが当たり前のように感じてしまうこともあるかもしれません。だからこそ、少しでも立ち止まって考えてみましょう。「だれが、きれいにしてくれているのだろう」と。

きれいだな、と思うそのうらには、だれかの働きがあります。そう考えると、いつもより大切に使うという気持ちが生まれてきます。

では、その気持ちはどのように表せばよいのでしょうか。

それは、「くつのかかとをそろえること」です。

たった1秒でできるこの行いは、「ありがとう」を形にしたものです。くつがそろうだけで、昇降口は見ちがえるほど気持ちのよい場所になります。

となりの人のくつがそろっていなかったら、そっと直してあげましょう。それは、その人の分まで「ありがとう」を伝えることになります。

それが、「徳を積む」ことにつながります。

「徳を積む」とは何か、それはまた次回の学校だよりで。



こうむ員の〇〇さん



こうむ員の〇〇さん



かんごしの〇さん

このたよりは、おうちの方にもお渡しして読んでいただけてください。